

## 水環境出前講座を開催しました！（第2回目）



開催日時 令和2年10月21日（水）9：50～11：25

場 所 高松市立三溪小学校体育館（4年生）

内 容 下水道や浄化槽の役割、身近な水環境について、公益社団法人香川県浄化槽協会の協力のもと、座学や実験を交えて、児童のみなさんに楽しく学んでもらいました。



初めはテキストを使用した座学を行いました。毎日使用している水がどのように循環しているかや、下水道と浄化槽の役割について学びました。香川県では、1人が1日に使用している水の量は、約230Lにもなるそうです。

トイレになぜティッシュペーパーを流してはいけないのか。水を入れたペットボトルにティッシュペーパーとトイレットペーパーの欠片をそれぞれ入れ、30回程度振って比較しました。トイレットペーパーは、すぐにバラバラになりましたが、ティッシュペーパーは、ほぼ原形が残ったままでした。中々溶けないのでトイレで流すと詰まりやすいんですね。



実験では、CODパックテストを利用して、春日川の上流と下流の水の水質を測定したところ、上流が2～3、下流が3～4という結果でした。その後、講師が同じ水を水槽に入れ、そこに飲み終えたジュースのペットボトル（350ml）を入れ測定したところ、見た目は変わらないのに、100を超える数値に。少しの汚れでも、水質はすごく悪くなるんですね。